

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

MM MM MM MM
ZZZZZZZ9 MMMM MMMMMMMMMMMM M

処理事項

整理番号

事業所区管理番号

申告区分

M M M M M M M M M M

/

M M M M M M M M M M

999

MM年MM月MM日

法人番号

申告年月日

郵便官署消印

確認印

M M M M M M M M M M

年

月

日

所在地

(フリガナ)

法人名

(フリガナ)代表者氏名

(フリガナ)経理責任者氏名

この申告の基礎

1. 法人税の修正申告書の提出による。

2. 法人税の更正・決定・再更正による。

事業種目

期末現在の資本金の額又は出資金の額

期末現在の資本金の額及び資本準備金の額の合算額

期末現在の資本金等の額

MMMZ9年 Z9月 Z9日からMMMZ9年 Z9月 Z9日までの事業年度分の市町村民税~~MM~~申告書※

摘要

課税標準

税率(/100)

法人税割額

(使途秘匿金税額等)

①

[十億 | 百万 | 千 | 円]

法人税法の規定によって計算した法人税額

試験研究費の額等に係る法人税額の特別控除額

②

還付法人税額等の控除額

③

退職年金等積立金に係る法人税額

④

課税標準となる法人税額及びその法人税割額 ① + ② - ③ + ④

⑤

000

十億 | 百万 | 千 | 円

2以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準となる法人税額及びその法人税割額 ($\frac{⑤}{⑫} \times ㉑$)

⑥

000

市町村民税の特典寄附金税額控除

⑦

税額控除超過額相当額の加算額

⑧

外国関係会社等に係る控除対象所得税額等相当額の控除額

⑨

外国の法人税等の額の控除額

⑩

仮装経理に基づく法人税割額の控除額

⑪

差引法人税割額 ⑤ - ⑦ + ⑧ - ⑨ - ⑩ - ⑪ または ⑥ - ⑦ + ⑧ - ⑨ - ⑩ - ⑪

⑬

既に納付の確定した当期分の法人税割額

ZZZZZZZZZ900

租税条約の実施に係る法人税割額の控除額

⑭

この申告により納付すべき法人税割額 ⑫ - ⑬ - ⑭

⑮

00

均等割額

算定期間中において事務所等を有していた月数

⑯

円 × $\frac{⑰}{12}$

⑱

00

既に納付の確定した当期分の均等割額

⑲

ZZZZZZZZZ900

この申告により納付すべき均等割額 ⑳ - ㉓

㉔

00

この申告により納付すべき市町村民税额 ㉕ + ㉖

㉗

00

㉘のうち見込納付額

㉙

差引

㉚ - ㉛

㉜

当該市町村内に所在する事務所、事業所又は寮等

分割基準

当該法人の全従業員数

左のうち臨時雇用の従業員数

人

人

人

名称

事務所、事業所又は寮等の所在地

合計

23

人

24

指定場合同都市の計算

指名

区コード

月数

従業者数

人

均等割額

円

決算確定の日

分散の日

残余財産の最後の分配又は引渡しの日

法人税の期未現在の本拠地の額

この申告が中間申告期間の場合の計算期間

還付を受けようとする金融機関及び支払方法

口座番号（普通・当座）

銀行

支店

法人税の申告書の種類

青色・その他

翌期の中間申告の要否

要・非

法人税の申告期限の延長の有無

有・無

還付請求税額

十億 | 百万 | 千 | 円

第15条の4の徴収猶予を受けようとする税額

関与税理士署名

(電話)

